

スカウトみやぎ

ボーイスカウト日本連盟は、来春100周年、
先輩スカウトからのメッセージを感じてみませんか？

2021.7.1
NO.55



スカウティングより抜粋

SAFE
FROM
HARM



そなえよつねに
ボーイスカウト

令和3年度年次総会報告

5月9日（日）にWEBを使ったリモート会議形式で実施することができました。各団の皆様の、ご協力に感謝申し上げます。

日本ボーイスカウト宮城県連盟 連盟長 村井 嘉浩

本日、令和3年度日本ボーイスカウト宮城県連盟年次総会を挙行できることを大変喜ばしく思います。

本日御参会の皆様には、宮城県のスカウト運動の普及・啓発のため、日頃御尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。また、今年度表彰の栄に浴されました皆様には、献身的にスカウト運動を支えていただいておりますことに心から敬意を表します。

さて、未だ新型コロナウィルス感染症の終息の見通しは立たない状況であり、皆様におかれましては、不安を抱えながら活動していることと推察いたします。

昨年度は、コロナ禍により、各種事業が中止となる中、オンラインを活用した「スカウトフォーラム」や、感染症対策を講じた「わくわく自然体験遊び」などの活動を行いました。コロナ禍においても、指導者・スカウト一人一人が「そなえよつねに」の精神でスカウト活動に取り組んだことは、ボーイスカウト宮城県連盟にとって「より良き社会を創る」というビジョンを実現していく上で、大変意義のあることだと考えております。

指導者の皆様におかれましては、宮城の復興を担い、新しい時代に柔軟に対応できる、心身ともにたくましい青少年の育成に、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。そして、今年度も、「スカウト運動を活性化し、楽しく仲間作りを広げる」という目標のもと、各地区での各団、各隊による活動が一層充実し、一人でも多くの青少年が仲間として加わることを期待しております。

結びになりますが、本日御参会の皆様並びに日本ボーイスカウト宮城県連盟の関係指導者、スカウトの皆様のますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして、連盟長としてのメッセージといたします。

リモート会議の状況と今後の可能性

令和3年度宮城県連盟年次総会はWEBによるリモート会議形式で開催されました。

昨年春からの新型コロナ感染拡大により、昨年の年次総会は5月の予定が10月開催となりました。今年度は、役員改選の年次となっていたことから、予定通りの5月開催でということで、三役会を中心に理事会でも検討を重ねてきました。

できるだけ大きな会場で、3密を避ける状態での対面での検討も重ねましたが新型コロナの感染状況が改善されることが期待できず、リモートでの開催となりました。

県連でプロジェクトチームを立ち上げていただき、何回かの検討打ち合わせと、関係者の皆様のご協力をいただいたりハーサルも実施し、本番当日を迎えることができ、大きな問題もなく開催進行ができました。



当初、初めてのリモートでの開催であり、うまくいかないのではないかとの心配もありましたが、参加いただいた皆様が、この一年でこの会議形式に練れていることは予想外でした。

また、プロジェクトチームとして会議形式の立案から機材の準備、当日のオペレーションを担当してくれた佐藤さんと、小堤さんの力は大変大きいものがあったことを強くアピールしたい、そして貴重な時間を割いて協力いただいたことに感謝したいと思います。

今回の会議にスマホや、タブレットでの参加の方々もおられましたが全く問題はなく、アフターコロナでも、今回の会議形式は活用できると確信しました。

今後の県連の会議や、委員会等の会議体でも対面とのハイブリット会議や、いろいろな形式での活用の道があると感じています。今後の必須アイテムになることは確実です。（県連事務局）



楽しいよ！ボーイスカウト！

楽しかった組旅行 塩釜第1回 カブスカウト 落合 彩加

私たち塩釜第1団のカブ隊では、毎年組旅行を計画しています。

コロナウィルスがあるので、あまり活動ができなかつたので組旅行ができると聞いた時はとてもワクワクしました。

みんな、とても楽しみにしていたみたいで、とてもたくさんのアイディアが出ました。その中からみんなで多数決をとり、トランポリンをしてから公園でお昼を食べ、最後にかんらん車から仙台のまちなみを見てみようというコースに決まりました。

トランポリットというところにはとても大きなトランポリンがあり、みんなとわいわい思いっきり遊びました。空中にいる時間が長いのがとてもふしきで楽しかったです。

その後歩いて公園に行き、おべんとうを食べたり、紙飛行機を工夫して飛ばしたりしました。

そして最後に観覧車に乗りました。いつも車や歩きながら見ている建物や道路がどんどん小さくなって行きました。

1番高いところの窓からみた景色はとても美しかったです。
みんなで活動できることが少ない1年だったので、久しぶりの組旅行はとても楽しく満足の1日でした。

今年の組旅行はどこに行くことになるのかな。またみんなで楽しく行きたいです。



「お勧めします！」仙台第27回 広報連絡員 金山 瞳

ボーイスカウト？聞いたことはあるけど…その程度で何の知識もなく友達に誘われ入団した長男。

キャンプ、スキー教室、募金活動、学校生活で経験することのできない活動を通して自然と年長者が年下の面倒を見るという事が身につき、全国のスカウトの集いジャンボリーに参加した事で積極性が芽生えました。

社会人となった今、スカウトで経験してきたことが多いに役立っていると思います。



神社スカウト全国大会
伊勢神宮宇治橋前で記念写真

大崎八幡宮境内にて餅つき大会
神職とボーイ隊隊長の協力で
おいしいお餅が参拝者に振舞われました



「お勧めします！」仙台第1回 BS隊長 佐藤 有一

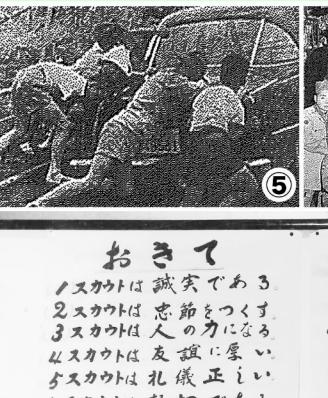
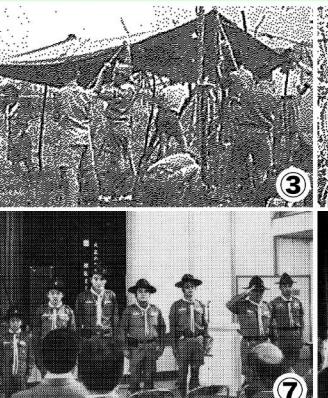
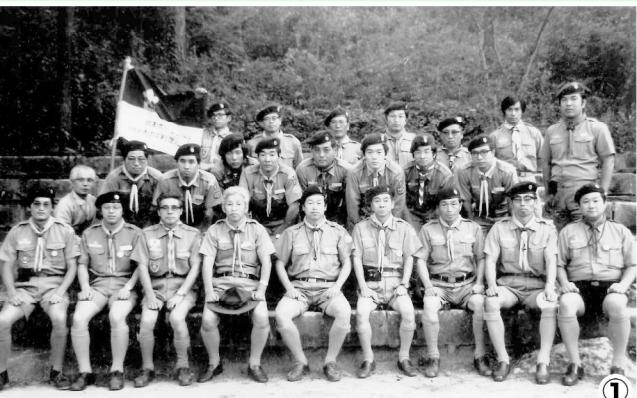
仙台1団ボーイ隊では今年度から、GB集会～班集会～隊集会という基本に忠実な活動展開に力を入れています。

次のキャンプで何をするかをスカウトに自由に考えてもらい計画を立て準備を進めていくと、やったことのないプログラムや、作ったことのない料理など、大人たちだけでは思いもよらない新しいアイデアがどんどん出てきます。

計画とおりにいかないこともたくさんありますが、そんな経験も次の活動に活かしてもらえばと思います。

そんな仙台1団のキャンプで新たな定番メニューになりつつあるのがこのホットサンド。今までキャンプ2日目の昼食はサンドイッチが定番でしたが、鍋釜を使わざきちんと加熱できて美味しいと好評です。

ボーイスカウト日本連盟は、来年春100周年を迎えます 各回から届いた懐かしい写真でこれまでのスカウティング、歴史を振り返ってみませんか！



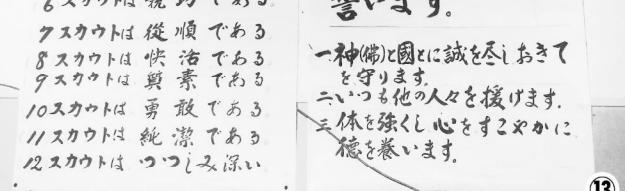
七

クスカウトは順治素敵潔純つゝしある
8スカウトは従快興勇純つゝしある
9スカウトは順治素敵潔純つゝしある
10スカウトは順治素敵潔純つゝしある
11スカウトは順治素敵潔純つゝしある
12スカウトは順治素敵潔純つゝしある

ちかく

私は名誉にかけて
次の三条の実行と
誓います

神(佛)と國とに誠を尽しあきて
を守ります。
いつも他の人々を援げます。
体を強くし心をすこやかに
徳を養います



第12回日本ジャンボリー 秋田県森吉山麓高原
1998年8月



第7回ボーイスカウト宮城県野営大会
(くりこまきゅうやぎ)

140%を5日間かけ



③④⑤⑥仙台第1回より ⑥発団2年後、1951年のクリスマスの様子。**⑦⑧泉第1回より** 1976年10月31日七北田小学校で行われた宮城第39回（泉第1回）発団式の写真。**⑩⑪⑫⑯⑯迫第1回より** あこがれの家型テント体験、カントリー大作戦、秋田県森吉で行われたジャンボリーの会場の様子。**⑯⑰⑱岩沼第1回より** ⑯平成5年11月 発団30周年記念式典での集合写真、⑰神社スカウト全国大会参加時鼓、笛隊演奏を披露。**⑨⑯⑲⑳㉑㉒㉓㉔石巻地区より** ⑯地区キャンキャンボリー⑳ジャンボリー見学隊集合写真、㉔北上川（岩手県盛岡市～宮城県石巻市）ドラムかんいかだで川下り成功の新聞記事。**①②⑬涌谷第一回新井隊長より** 思い出の写真を提供頂きました。

GO！スカウティング！

ボーイスカウトに入隊しました。泉第1回BS隊 保護者 木村 誠一朗

ビーバー隊見習いを経て、現在ボーイ隊1年目スカウトの保護者です。

ボーイスカウトを知ったきっかけは体験会でした。体験会はスカウトでのグループ編成で、年長スカウトが下級スカウトのお世話をする行為が、子供ながらにリーダーシップ、自主性、協調性、社会性を發揮していると感じ、息子にもこのような成長を遂げてほしいと思い、また、本人も活動が楽しかったことから入隊に至りました。

スカウト活動は年代に合わせてプログラムを組んでいるので、集会に参加する毎に体験した事を話してくれます。それが精神面や肉体面の成長を感じさせてくれるものであり、入隊させてよかったです。



初めてのお米とぎ 泉第2回くまスカウト 九里 祥太

ボーイスカウトの活動で楽しかった活動は、団キャンプで大沢温泉に行なったことです。大沢温泉では、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー隊のみんなで夕食作りをしました。

ぼくはお米とぎと野菜切りの担当でした。初めてのお米とぎだったので、ボーイ隊からお米のとぎ方と水の計り方を教えてもらいました。

お米とぎは水が透明になるまで、水の量はといだお米の上に手を置いて手首のところまでと教わりました。



どんなたきこみご飯ができるかドキドキしたけど、でき上ったご飯はとてもおいしかったです。

みんなからいろいろなことを教わってボーイスカウトの活動をがんばっていきたいです。



～～鶏解体～～ 仙台第37回 広報連絡員 吉田 幸弘



「鶏を解体した事はありますか。」

37回では鶏解体をボーイ隊のスカウトに挑戦させております。

このプログラムはスカウトの父兄からも大好評で、もう10年以上行っています。

写真は鶏の大きさと一所懸命になって鶏解体をしているスカウトです。

分からない所は指導者に確認して解体を進めるスカウト、解体を無事終えたスカウトの表情は、達成感を味わった満足の表情を発信していました。

加えて、自分で解体した肉を調理するのですから、美味しさは倍増です。

「スカウトキャンプの楽しさの一つは料理です。」と言っても過言ではありません。

これからもスカウト達に料理の楽しさを教え、アウトドア料理のスキルアップをスカウトと共に努めます。

GO！スカウティング！

宗教章取得に挑戦 迫第1団 広報連絡員 富士原 孝一



迫第1団のベンチャースカウト4名が宗教章取得を目指し、登米市(とめし)登米町(とよままち)の曹洞宗玉秀寺の門を叩きました。

4日間に渡る講義では、座学にて仏教や曹洞宗について知識を深め、お寺のお勤めに励み、本堂で実際に仏教作法や坐禅を行いましたが、慣れない所作に4名は終始緊張していました。

4名のスカウトはレポート提出なども終了し、令和3年3月25日付け日本連盟から承認され宗教章を取得しました。
おめでとうございます。

宗教章取得者 迫第1団

伊藤千夏、大友真珠、三神諒士、伊藤向葵



今、コロナ禍の中で 鹿島台第1団 広報連絡員 石垣 貴信

鹿島台第1団は、例年どおり「オーバーナイトハイク」を実施しました。年越しの夜、地元の鹿島台神社に集合し、除夜の鐘と共に初詣を済ませたら、約20km離れた海岸線を目指して出発です。ベンチャー隊からカブ隊まで、総勢8名が参加しました。

今年は例年ない厳しい寒さの中、参加したスカウト達はボーイ隊を中心にソーシャルディスタンスに気を付けながら隊列を組み、全員で東松島市浜市地区の海岸にゴールできました。途中、リーダーが設営したブルーシートウォールで休憩しながら強い風や吹雪にも負けず歩き通したスカウト達の頑張りに、成長した逞しさを感じると共に、更なる成長を願う一年の始まりでした。

御参加、御協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



コロナ禍の沈静を願って 白石第1団 BS隊 副隊長 正田秀應



私がボーイスカウトに入隊したのは30年以上も前です。四年生の頃にカブスカウトに入隊し、当時はシニアースカウト(現ベンチャースカウト)まで活動していました。

進学や社会人になるに伴い離れていたスカウト活動でしたが、再びリーダーとして活動に参加するようになってからは、全日本スカウトジャンボリーなど、自隊の野営活動を飛び越えて、他隊との友情を深めながら、苦難を



共にしつつ大会の期間を過ごすことそのものが、スカウトに限らず、リーダーになった今も大きな成長を促すものだと感じさせられました。

コロナ禍でなかなか大きな大会を企画・運営することが難しい昨今ではありますが、この事態が一日でも早く収まり、ボーイスカウトの神髄を体験出来るスカウト活動が盛んになることを切に願っております。

~~富士と不二~~ 仙台第37団 吉田 幸弘

「ふじスカウト」の「ふじ」を漢字で富士と書きますよね。」ボーイスカウト日本連盟規定集には富士と書かれています。

1971年朝霧高原で世界ジャンボリーが開催された事をご存知ですか。その時代の富士スカウトの話を伺うと「ふじスカウトのふじは、"不二"」と話す人もいました。「二人といないスカウト、日本一のスカウト」という意味だそうです。その不二は、全国で年に一人出るか出ないかだったとのことです。

当時の2級スカウトは手旗信号 1級スカウトはモールス信号が必修技能。その時代の事ですから不ニスカウトは超難関だったと思います。そして見事合格した不ニスカウトは、日本ジャンボリーのセレモニーで総裁から表彰され、参加者全員から褒美を受けたそうです。

もし皆さんのお祖父様がスカウト経験があると言わいたら活動の話を聞いてみてください。「不二は憧れた」と言われると思います。

ボーイスカウト活動は約100年の歴史に支えられています。ふと疑問に思った事、興味を持った事を調べる事で時代に学ぶ活動が見えると思います。



令和3年度年次総会報告

理事長挨拶

日本ボーイスカウト宮城県連盟 理事長 日下 清

三指 この度、令和3年5月年次総会（リモート）にて日本ボーイスカウト宮城県連盟理事長の席を拝名させて頂きました。白石第一団の日下清でございます。

各団、県連盟に多大な功績を残して来られました諸先輩、諸兄歴代理事長の名を汚さぬ様、努めてまいります。

この重席は私自身の経験値をはるかに上回るものと、拝名後さらなる重大さに押しつぶされそうな日々であります。しかし、この重席を与えられた以上は県連新役員をはじめとする多くのスカウト関係の方々の支えとご協力、ご意見を頂き全うする所存であります。

来年には日本ボーイスカウト連盟創立100周年記念。また、18NSJ 2022年8月7日（日）～8日（日）東京にて開催、前後5泊6日の野営をブロック（北海道東北）、県連、団、隊等の単位で行う（骨子）事や、今後のHTCの検討など大きな行事と協議会が計画されております。

また、重要案件のスカウト登録減少があります。新スカウトの勧誘はもちろん近年は上進者の減少や中途退団も問題化しております。ボーイスカウト活動の目的社会的役割などが父兄をはじめとする多くの方に理解されてないのも減少の1つではないかとも残念ながら思っております。現在、スカウト数349名（令和2年度登録）と低迷の一途を辿っております。

今ここでスカウト関係者の皆様と問題を共有して一致団結しスカウト数増員を図らねばならないと深く思っております。今すぐにも行動が必須であると思います。

100数年前に昭和天皇がイギリス訪問された際に、ボーイスカウト活動に目を止められ、その後は長い歴史の中において現在も富士章の受賞式の際には東宮御所にて行われております、ボーイスカウト関係者としても他に誇れる事であります。

この栄誉（富士章）を授かれますこの上ない機会であることをスカウト諸君に伝え、目標に向かうことの意義をさらに強く指導されますことを願っております。

昨今のコロナウイルスの感染により活動自粛が余儀なくされておりましたが、6月1日より宮城県連盟としては3密に充分注意を計らい活動再開を県連盟中橋コミッショナーより告知させて頂きました。

話が前後致しますが、スカウト減少の1つの問題点として活動状況が見えにくい事があると思います。

今後の方針の1つとして、

- ① 活動がより多くの人々の目につくこと
- ② スカウトの成長など父兄に良く理解して頂くこと
- ③ スカウト目標を明確にし、交代を担う将来人として立派に成長することの出来る唯一の団体とし、認められること

今まで各隊において充分に行って来て頂いた教育・実践ではあります、多くの市民の方々にもっと目に触れて頂けるパフォーマンスの機会を増しながら今後活動して行きたいと強く思っております。

また、TV・マスコミ等で近頃見聞きする機会が多くなりましたSDGs（持続可能な開発目標）。

ボーイスカウト活動はすでにSDGsの17項目の内容の幾項目かにおいては実践を重ねて来たものがあります。ご存じの通り現在優良企業ではSDGsを企業理念としている会社が急増しております。

今更ではありますが、この全世界的な重要なことの一環を担うボーイスカウト活動をスカウトの心に、指導者の心に、私たちを取り巻く各企業の皆様に再度実践を通してお伝えすることを願っております。

戸惑いの多い理事長ではございますが、理事をはじめとする各団、各指導者、関係者の皆様に深くお願ひ申し上げ、この重席を努めさせて頂きます。

ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。



表彰おめでとうございます

令和3年度 日本連盟表彰

☆日本連盟 奨状（令和3年5月29日受賞）

佐藤 憲明（仙台第1団BS隊隊長）人命救助による褒状授与

☆日本連盟 功労章 かっこう章（令和3年5月29日受章）

日下 清（県連盟名誉会議議員、白石第1団副団委員長）

令和3年度 ボーイスカウト振興国會議員連盟表彰

小堀 泰（岩沼第1団BS隊隊長、県連盟副コミッショナー）

令和3年度 県連盟表彰

☆県連盟 奨状（奨励スカウト）

隼人カト No.02-01 木幡 明（泉 第1団バッチャースカウト隊）

隼人カト No.02-02 加藤寿哉（塩釜第1団バッチャースカウト隊）

☆県連盟 感謝状

株式会社 藤崎

☆県連盟 感謝章

早坂 光男（元仙台地区副コミッショナー、元仙台第1団指導者）

足利由美子（前県連盟副コミッショナー、みやぎスカウトクラブ）



☆県連盟 有功章

田端 恒子（県連盟副コミッショナー、泉第2団副団委員長）

☆県連盟 特別有功章

高橋 一夫（県連盟総務委員会委員、塩釜第1団副団委員長）

☆宮城スカウティング褒章

千葉 義博（県連盟参与、塩釜第1団団委員）

☆県連盟 奨状（団）対前年度スカウト加盟員数増加団

仙台第27団（団委員長 千田 文彦）

仙台第37団（団委員長 大久保晃男）

名取第1団（団委員長 橋浦 寛）

岩沼第1団（団委員長 咲間 亘）

泉第1団（団委員長 菊地 大喜）

鹿島台第1団（団委員長 安倍 敏彦）

石巻第2団（団委員長 松本 公一）

迫第1団（団委員長 佐藤 昌市）



■編集後記

2022年日本ボーイスカウト日本連盟100周年を迎えるにあたり、日本連盟より許可をいただき、50年以上前に発行された広報紙「スカウティング」を表紙に掲載しました。

コロナ禍の中、スカウトはもちろんリーダーも思うような活動が出来ない今。こんな時だからこそ「古い書籍」「懐かしい写真や記念誌」を見返し、発足当時の思い、活動への熱意にふれてみてはいかがでしょうか。

終息した後、チャレンジしたこと、目標・目的、今しなければいけないこと見つかるかもしれませんよ！

広報委員会 副委員長 スカウトみやぎ担当 高橋修

（掲載している懐かしい写真は、石巻地区50周年記念誌の中から提供いただきました）

■発行日 令和3年7月1日

■発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟
〒985-0841 多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号
(宮城県多賀城分庁舎)

電話 022-355-6265
■発行人 日本ボーイスカウト宮城県連盟
理事長 日下 清

■編集人 日本ボーイスカウト宮城県連盟
広報委員会委員長 佐竹孝喜